

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

- 1、施設名：有限会社 グッドライフ グループホーム アウル登別館
- 2、施設種類：グループホーム 小規模多機能型居宅介護施設（該当するものに ）
- 3、日時：平成20年 9月 27日（土） 14時00分～15時00分
- 4、会場：グループホーム アウル登別館 事務室
- 5、出席者：

区 分	人 数	区 分	人 数
利用者代表	0名	民生委員	1名
利用者の家族	0名	市役所職員	1名
地域住民の代表	1名	事業所職員	3名
その他職員	0名	地域包括支援 センター職員	0名

6、議 案：

避難訓練等 安全管理について
グループホーム アウルの現在の活動内容
地域に根ざした福祉のあり方について
次回の議案等 今後の運営推進会議の活動について
別紙『避難訓練』概要添付

会議内容について

今回は、運営推進会議メンバー・登別消防署員立ち会いのもと夜間を想定した火災避難訓練を行い、終了後、訓練に対する感想等を含め、議案について話し合っております。

『避難訓練等 安全管理について』

避難訓練については、職員の動きに若干ぎこちない点が見られた為、普段から火災受信機の使用方法を確認する等、有事に備えた積極的な取り組みが必要ではないかとの意見を頂いております。また今回は夜間想定ということもあり、近隣住民に日頃から協力

を呼びかける等、人員不足を補う方策について、早急に対処すべきとの意見も頂いております。

『グループホーム アウルの現在の活動内容』

アウル職員より入居・待機状況等の報告を行っております。また現在、認知症サポーター養成講座の開催など地域への貢献に向けた取り組みについて模索している段階であることを説明し、感想・具体案等をメンバーに伺っております。

町内会長からは、アウルに対して近隣住民からこれまで苦情等も寄せられておらず、今後もあまり神経質にならずに自然な形で交流を図っていきましようとの意見を頂戴しております。

『地域に根ざした福祉のあり方について』

前述の議案と連動した形で進行し、アウル職員・管理者よりグループホームの特性・専門性を地域に活用して頂きたいとの意向を説明し、具体的には「地域の相談窓口」的な役割についての提案を行っております。また、アウルに入居される方々の生活の輪を広げ、質を高めていく上で地域との関係向上が不可欠であるとの認識についても説明しております。

民生委員からは、経験上、当事者又は家族がサポートを必要とするタイミングの見極めは難しく、あまり執拗になり過ぎると頑なに拒まれる結果となる為、地域への働きかけは焦らず長期的に行っていくことが大切ではないかとのアドバイスを頂いております。

町内会長からは、認知症サポーター養成講座開催について、汐平町内会だけでなく、若山・若葉町内会など比較的高齢者の多い地域への案内についての提案を頂いております。

オブザーバーの主査からは、地域に対しては積極的且つ柔軟な姿勢で、働きかけを継続して行っていくことが重要であり、その事により結果として、地域のネットワークの充実化、認知症の理解に繋がっていくのではないかと意見を頂いております。

『次回の議案等 今後の運営推進会議の活動について』

メンバー共通の意見として、運営推進会議については、気軽に意見を交換できる関係作りが重要であって、特に議案等が見当たらない場合には、会議という形に捉われず食事会や座談会形式の

開催に切り替える等、もっと柔軟な活動内容にしていきましょうとの事でした。

全体を通じたの結果

今回の運営推進会議では「地域」をテーマに、「グループホームの存在意義とは？」「地域密着とは？」等、これまで以上に幅広い内容での意見交換を行うことができました。

また現在は、「回覧板に認知症サポーター養成講座の案内を載せてもらっては？通信も一緒に回覧してもらっては？」等これまでとは違った視点での検討を積極的に行う等、今回の運営推進会議をきっかけに、地域との関係作りに向けて新しい方向性・可能性を見出す事ができました。

今後も運営推進会議等を通じ、様々な意見を地域の皆様より頂きながら、「グループホームの存在意義とその可能性」について積極的に検討し、「地域に根ざした福祉」に向けて取り組んで参りたいと思います。